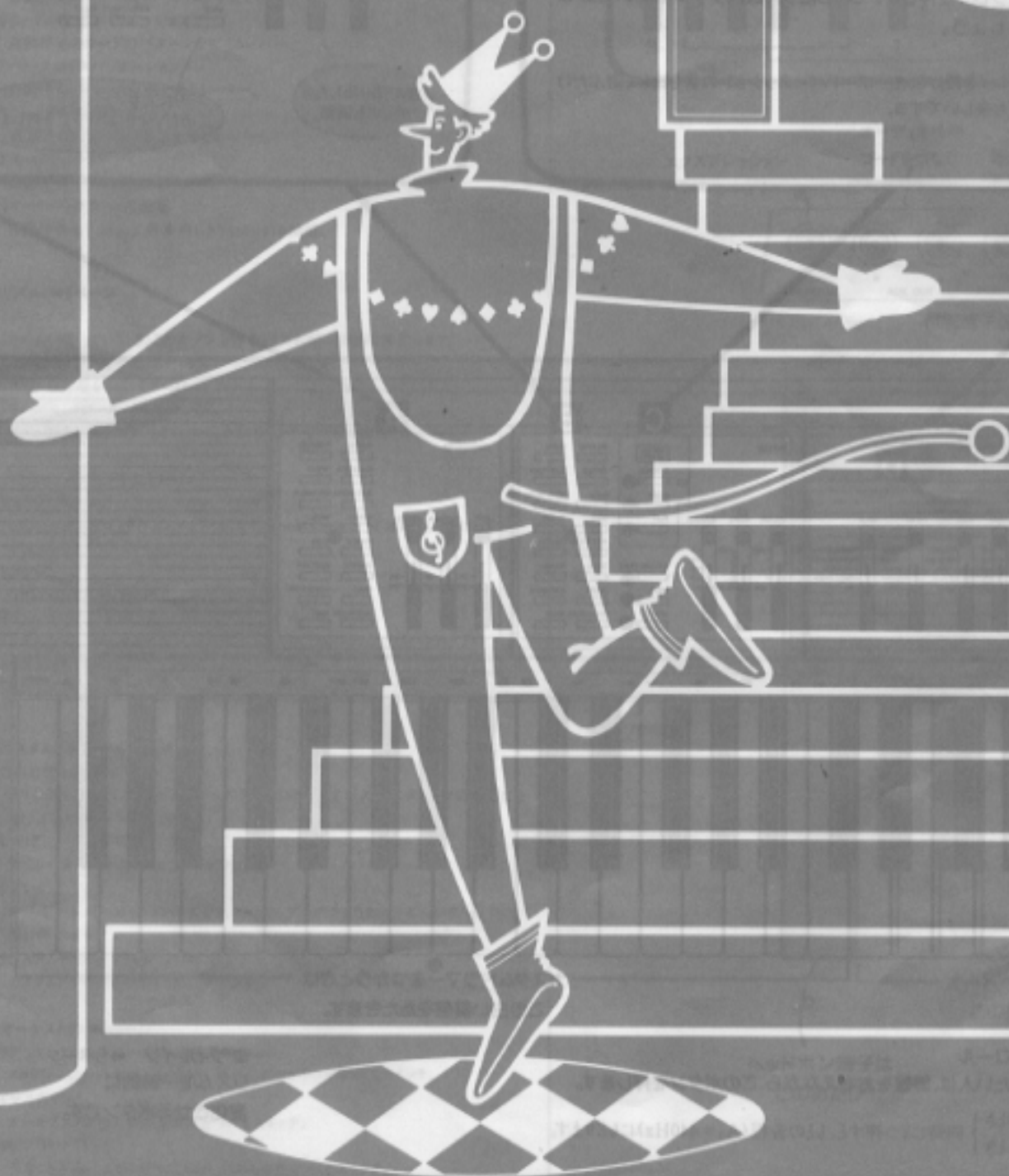


PORTATONE

PSR-31

ガイドブック
(取扱説明書)



YAMAHA

ヤマハポータトーンをお買いあげいただき、 ありがとうございました。

これだけは読んでおきましょう

お読みになったあとは

ポータトーンを使い始める前に、下の〈取扱上の注意〉と、〈ポータトーン早わかり〉だけは読んでおきましょう。ポータトーンをつかひこなすための基本です。

大切に保管して、わからないことが出てきたら、もう一度ご覧になってください。また、別冊の〈プレイメイト〉は、オートベースコードをつかって演奏する時に、そばに置いておくと便利です。

〈取扱上の注意〉

①こんな所には置かないでください。

- 暖房器具のそばや日中の車内など、極端に温度が高い場所。
- 湿気の多い場所。

②無理な力を加えないでください。

- 落としたり、上に座ったりしないでください。
- ボタンやスイッチなどに、無理な力を加えないでください。

③使用後は

- 必ず電源スイッチを切ってください。
- 長い間使わないときは電池をぬいてください。
- 電源アダプターを使用している場合も、使わないときはコンセントからぬいてください。

④お手入れは

- 柔らかい布でカラ拭きをしてください。
- 汚れがひどいときは、少し水で湿らせた布で拭いてください。
- アルコールやシンナー類は、絶対に使わないでください。
- 塩ビ系のものを長時間置くと、くっつく場合があるので注意。

もくじ

	ページ
ポータトーン早わかり	1
A オーケストラ	4
B リズム	5
C カスタムドラマー	6
D オートベースコード	8
リズムパターンの実例	12
■ Let's Play	
・マイウェイ	13
・くちなしの花	14
・オンザサニーサイドオブザストリート	15
・君といつまでも	16
故障と誤りやすい現象	17
仕様	18

各部の名称とはたらき

〈全体のコントロール〉

- ①パワースイッチ/パイロットランプ
電源を入れるスイッチ。電気が通じればパイロットランプが点灯。
- ②マスターボリューム
全体の音量を調節するレバー。
- ③ピッチコントロール
他の楽器と音程を合わせるためのボタン。

〈オートベースコード〉⇒8~11ページ

- ④オートベースコードボリューム
自動伴奏のボリュームを調節するレバー。
- ⑤ベースパターンバリエーション
自動伴奏のベース音のパターンを変えるレバー。
- ⑥コードパターンバリエーション
自動伴奏のコードのパターンを変えるレバー。
- ⑦ベースボイスバリエーション
自動伴奏のベース音色を変えるレバー。
- ⑧コードボイスバリエーション
自動伴奏のコードの音色を変えるレバー。
- ⑨モードセレクター
自動伴奏のやり方を選ぶレバー。
- ⑩オートベースコード用鍵盤
自動伴奏をするときに、伴奏用にきりかえられる鍵盤。

〈リズム〉⇒5ページ

- ⑪フィルイン
リズムが鳴っているとき、このボタンを押すとリズムが一時的に変化します。
- ⑫リズムボリューム
リズムの音量を調節するレバー。
- ⑬テンポコントロール/テンポランプ
リズムのテンポを調節するレバー。テンポランプで早さを確認できます。
- ⑭リズムバリエーション
リズムのパターンを変えるレバー。
- ⑮シンクロスタート
このボタンを押すとリズムスタンバイとなり、オートベースコード用鍵盤を弾けばリズムがスタート。
- ⑯スタート
リズムをスタートさせるボタン。
- ⑰ストップ
リズムをストップさせるボタン。
- ⑱リズムセレクター
リズムの種類を選ぶボタン。

〈カスタムドラマー〉⇒6~7ページ

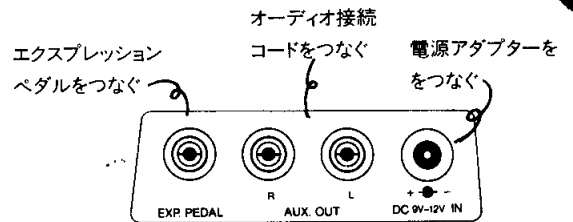
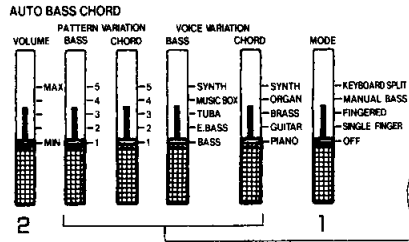
- ⑲プログラム/プログラムランプ
オリジナルのリズムパターンをプログラムする時に押すボタン。スタンバイの状態になると、プログラムランプが点灯。
- ⑳クリア
リズムパターンを消す時に押すボタン。
- ㉑プレイ
キーボードパーカッションの音を出すときや、プログラムされたリズムパターンを出す時に押すボタン。
- ㉒カスタムドラマー用鍵盤(白鍵のみ)
カスタムドラマーをつかうときにたたく鍵盤。

〈オーケストラ〉⇒4ページ

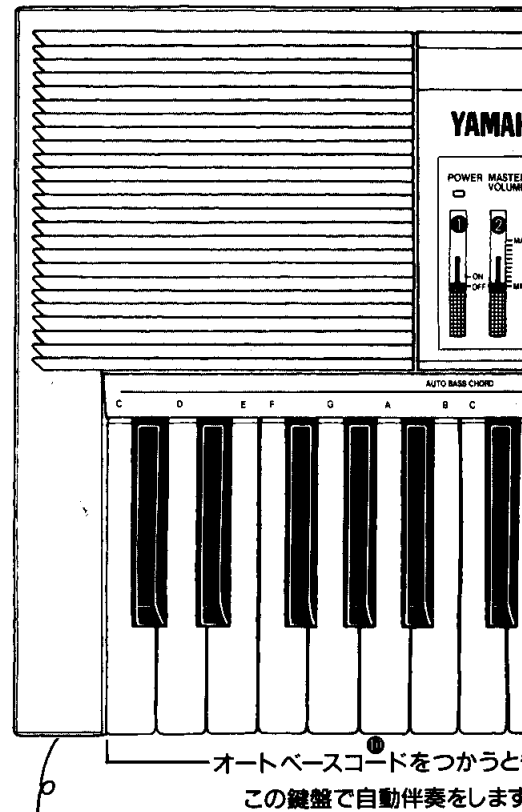
- ㉓デュエット(オートベースコード使用時のみ)
メロディーにハーモニーを加えて、厚みのあるサウンドをつくるスイッチ。
- ㉔サステイン
オーケストラ音色に自然な余韻をつけるスイッチ。
- ㉕ビブラート
音をこざざみにふるわせて、うるおいのある音色をつくるスイッチ。
- ㉖トーンセレクター
音色の種類を選ぶボタン。

D 自動伴奏にトライ! → オートベースコード 8~11ページ

- 1 シングルフィンガーにセット。
 - 2 ボリュームをまん中くらいに。
 - 3 Bでリズムを選んだら、シンクロスタートを押します。
 - 4 ⑩オートベースコード用鍵盤をひとつ、押してみましょ。
- にぎやかな伴奏が鳴り出しましたネ。
伴奏をとめたい時は、リズムのストップを押します。



付属端子はこのあたり



ヘッドホン端子はこのあたり

C オリジナルのリズムパターンに挑戦!

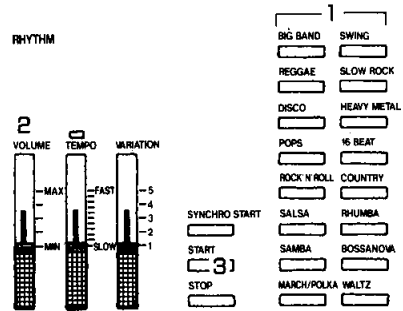
カスタムドラマー
→ 6-7ページ

- 1 [B]でリズムを選びます。
- 2 プログラムを押すと、ランプが点灯。
リズムが鳴り出します。
- 3 クリアを押すとリズムが消え、「チッ・チッ・チッ・チッ」という音が残ります。
- 4 [C]カスタムドラマー用鍵盤をたたきましょう。
2小節のなかに、自分の押したタイミングで打楽器の音がはやり、くりかえし演奏されます。
- 5 完成したらリズムのストップを押して、プログラム完了。
- 6 プレイを押して、つくったリズムパターンを聞いてみましょう。

プレイを押して、キーボードパーカッションの音を出して遊ぶだけでも楽しいですよ。

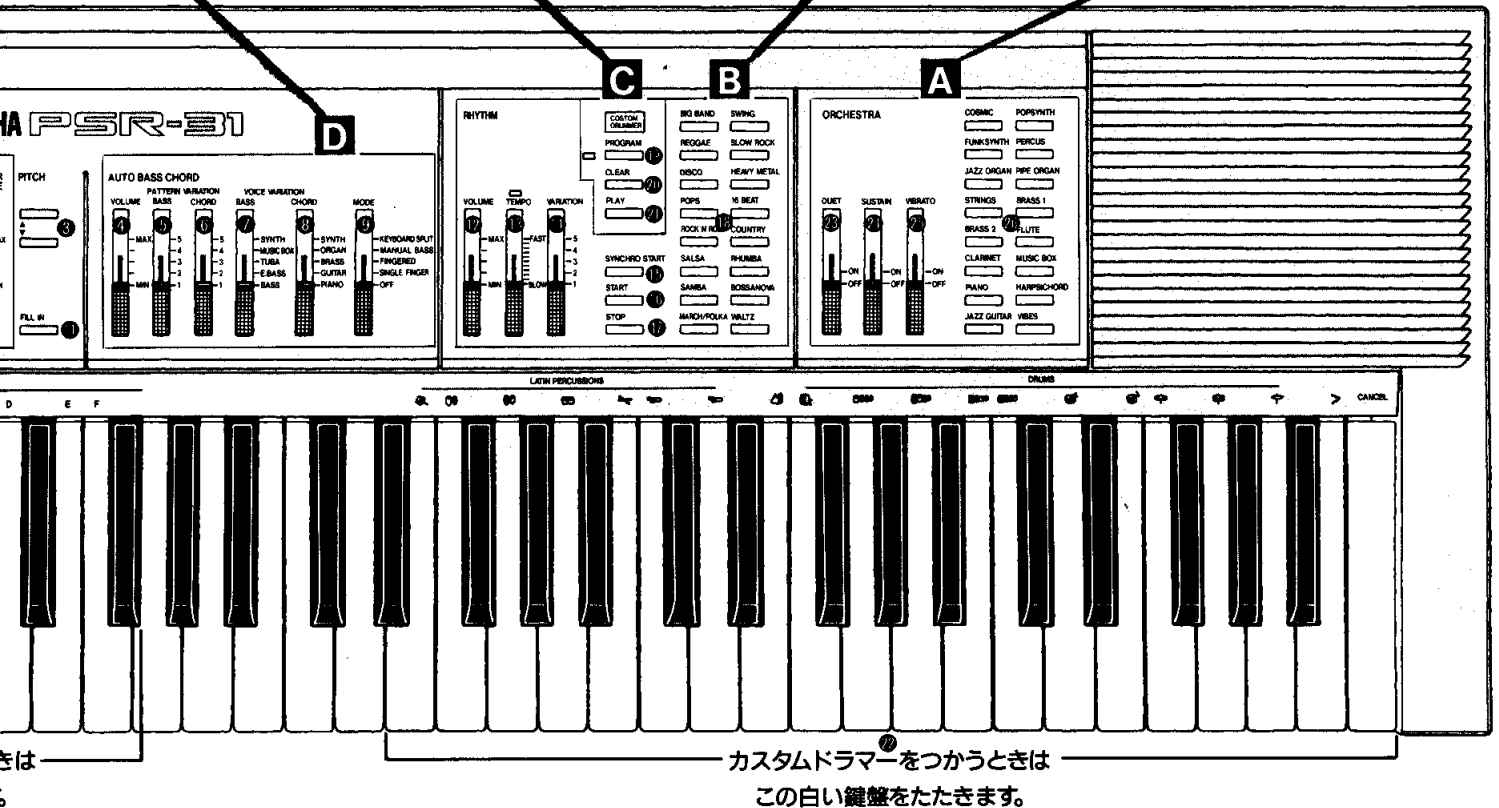
B リズムを鳴らしましょう → リズム 5ページ

- 1 好きなリズムを選びましょう。
- 2 ボリュームをまん中くらいに
- 3 スタートを押します。 選んだリズムが鳴り出しましたネ。



音が鳴り出したら
テンポも調節。

リズムを
止めたいときはストップを押します。



③ ピッチコントロール
チューニングしたい人は、鍵盤をおさえながら、このボタンを押します。
▲ 音程を上げるとき } 同時に2つ押すと、もとの音程(A₃=440Hz)にもどります。
▼ 音程を下げるとき }

NOTE:
★上下とも、ピッチコントロールを1回押すごとに、約3.2セント音程が変わります。(変化幅は±50セント、16回以上押しても、音程は変わりません。)また、押しつづければ少しずつ

変わっていきます。
★鍵盤の音色は、ジャズオルガンのようにおさえたままでも音が消えないものを選ぶと、音程の変化がよくわかります。

① フィルイン → 5ページ
リズムを一時的に変化させるボタンです。

ポータートーン早わかり



したく
1

電源のしたく →

したく
2

音を出す準備

とりあえずここだけ読めば、ポータートーンは動かせます。
くわしくは➡のページをご覧ください。

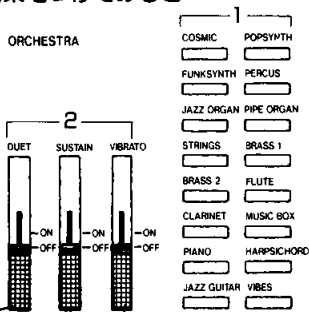
好きなところから始めましょう。

- A** オーケストラ(4ページ)
- B** リズム(5ページ)
- C** カスタムドラマー(6~7ページ)
- D** オートベースコード(8~11ページ)

A 音色を変えてみましょう

- 1 好きな音色を選びましょう。
- 2 音色に効果をつけてみると...

オーケストラ
4ページ



デュエット

(オートベースコードを)
つかっている時だけ)
メロディーの1音1音が
デュエットして、厚みのある
サウンドに。

ビブラート

音がこきざみにふるえて、
うるおいのある音色に。

サステイン

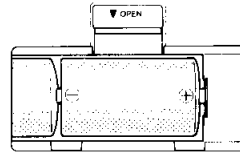
自然な余韻のある音色に。

↑
したく

電源のしたく

●電池を使う場合。

ポータサウンドをウラ返してケースのフタをあけ、単1乾電池を6コ入れます。



⊕と⊖の方向に注意!

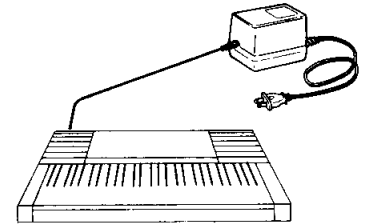
NOTE:

★電池が少なくなると、音がはずんだり、まちがった動作を起こしたりします。全部新しい電池と取りかえましょう。

●コンセントを使う場合。

付属品のアダプター〔PA-4〕を背面の付属端子〔DC 9-12V IN〕につなぎます。

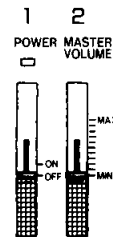
〔PA-4〕以外は使えません。



2
したく

音を出す準備

- 1 パワースイッチをON。パイロットランプがつかます。
- 2 マスターボリュームを上げます。

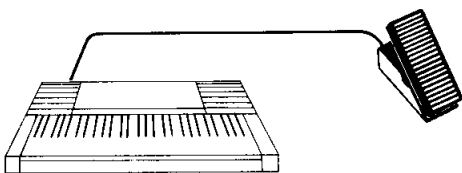


オプションで、こんなこともできます。

●エクスプレッションペダルをつかう。

付属端子の〔EXP. PEDAL〕に、エクスプレッションペダルのプラグを差しこみます。

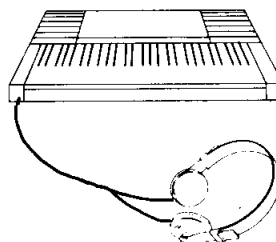
足で自由に音量調節。
表情のある演奏がウレシイ。



●ヘッドホンを使う。

付属端子の〔HEADPHONES〕に、ヘッドホンのプラグを差しこみます。

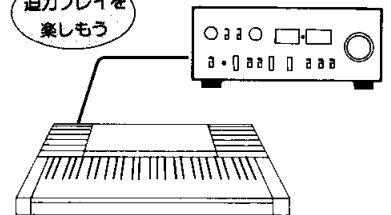
夜中の気まくれプレイ
ヒミツ練習もOK!



●ステレオなど、出力の大きなスピーカーにつなぐ。

別売のオーディオ接続コードをつかって、LINE IN端子と〔AUX OUT (R/L) 端子〕をつなぎます。

迫力プレイを
楽しもう







メロディーを弾きながら
いろいろな音色に変えてみると
いちばん似合う音が
わかります。

まずは音色選びから

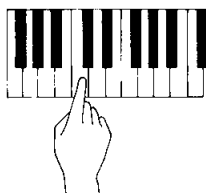
1 好きな音色をひとつ選びます。

NOTE:

- ★パワースイッチをONにしたあと、何も選んでいない状態の時は、左上のコズミックの音が出ます。
- ★いちどに2つ以上のボタンを押すと、すこしでもあとに押した方の音色が出ます。

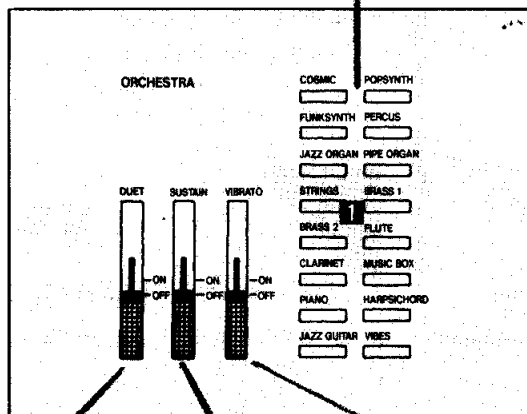
2 鍵盤を押してみましょう。

選んだ音色が出ましたね。



NOTE:

- ★いくつかの鍵盤を同時におさえた時は9音まで(8~10ページのオートベースコードをつかうときは5音まで、デュエットをつかうときは4音まで)鳴ります。
- ★音量はマスターボリュームで調節します。



効果を加えてみましょう

厚みのある音を出したいとき

デュエット

(P8~10)

オートベースコードで弾く場合だけ、デュエットをONにすると、メロディーの鍵盤の1音1音が2音のハーモニーになり、サウンドに広がりが出ます。

NOTE:

- ★オートベースコードで演奏していない時、デュエットをONにしても、ハーモニーは出ません。
- ★ハーモニーとして加わる音色は、トーンセレクトで選んでいるものです。
- ★ハーモニーは、オートベースコードで選んだコードに合わせて出てきます。

音に余韻をつけたい時

サステイン

サステインをONにすると、鍵盤から指をはなしたあとも音が残り、自然に消えて行く効果があります。

NOTE:

- ★サステインのかかり方は、音色によってちがいます。
- ★サステインは、鍵盤を押し続けていると音が消えてしまう音色に関しては、鍵盤を軽くたたくように弾くと、かかり方がよくわかります。

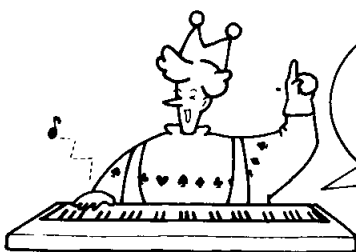
うるおいのある音にしたいとき

ビブラート

ビブラートをONにすると、音がこきざみにふるえる効果があります。

NOTE:

- ★ビブラートのかかり方は、音色によってちがいます。



演奏はリズムに合わせて。
ノリにくかったら
手で拍子をとってみよう。

1 リズムを決めましょう。

好きなリズムをひとつ選びます。

NOTE:

★パワースイッチをONにしたあと、何も選んでいない状態のときは、左上のビッグバンドのリズムが選ばれています。

★いちどに2つ以上のボタンを押すと、すこしでもあとに押した方の音色が出ます。

★ワルツは3拍子、それ以外のリズムはすべて4拍子です。

2 ボリュームを上げます。



たとえばまん中くらいに

NOTE:

★リズムボリュームが最小(MIN)になっていると、リズムの音は鳴りません。

3 スタートか、シンクロスタートを押します。

すぐにリズムを出したい時 → **スタート**

伴奏といっしょにリズムを出したい時 → **シンクロスタート**

シンクロスタートを押すと、リズムスタンバイの状態になり、オートベースコード用鍵盤を弾くと、リズムが鳴り出します。



4 リズムを止めたい時は、ストップを押します。

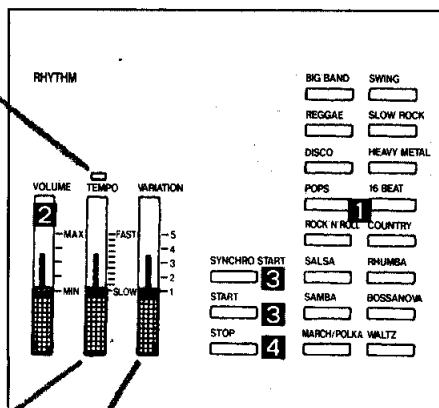
テンポランプは、

①リズムの速さを確認するため。

②演奏するとき、小節のはじまりを確認しながら弾くため。

に点灯します。

テンポランプ



テンポを調節。



FAST (♩ = 296)

SLOW (♩ = 43)

リズムバリエーションで、リズムのパターンを変えてみましょう。

ひとつのリズムに対して、5つのリズムパターンが楽しめます。

いろいろ動かしながら、自分のイメージにあったパターンを見つけましょう。

NOTE:

★リズムバリエーションのパターンは、選んだリズムによって変化のしかたがちがいます。



おなじビッグバンドでも、
バリエーション1と5では、
ずいぶんちがった感じに
なります。

フィルイン

FILL IN



このへんにあります

メロディーの切れ目など、必要なときにフィルインを押すと、その小節の終わりまで変則的なリズムに変わります。

〈フィルインで曲をスタート〉

フィルインで曲をスタートさせることもできます。まずフィルインをONにしてから、リズムをスタートさせてください。

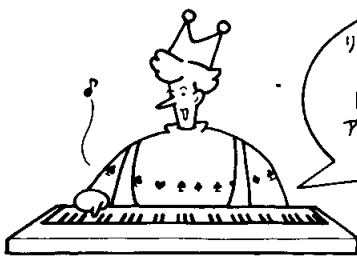
NOTE:

★フィルインを押し続けると、変則的なリズムが長く続きます。

★フィルインのパターンは、選んだリズムによって変化します。

★フィルインを押したあと、その小節内にもう一度押すと、通常のリズムにもどります。

C カスタムドラマー



リズムパターンもつくるなんて
難しく考えなくても、
自由にたたくと
アレっと思えばオリジナル
パターンが出来るかも。

楽しみかた1: キーボードパーカッションで遊みましょう。

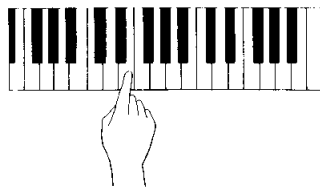
1. プレイを押します。

もとの状態にもどしたい時は、もういちどプレイを押します。

NOTE:

★プログラムが入っている状態でプレイを押すと、プログラムされたリズムパターンが鳴ってしまいます。この時は、プログラムのボタンを押してからクリアを押し、再度プレイを押しましょう。

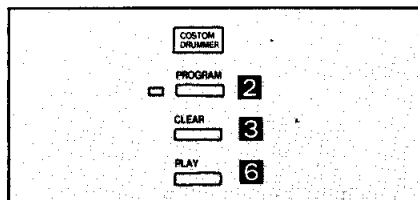
2. カスタムドラマー用鍵盤をたたいてみましょう。



NOTE:

★カスタムドラマーをつかっている時は、通常のリズムは使用できません。

★音量は、リズムボリュームで調節します。



楽しみかた2: リズムパターンをつくりましょう。

1 リズムをセット。(P5)

好きなリズムを選んで

イメージにいちばん近いパターンをセレクト

ボリューム
テンポはOKですか?

BIG BAND	SWING
REGGAE	SLOW ROCK
DISCO	HEAVY METAL
POPS	8 BEAT
ROCK N ROLL	COUNTRY
SYNCHRO START	SALSA
START	SAMBA
STOP	BOSSANOWA
	MARCH/POLKA WALTZ

2 プログラムを押します。

プログラムランプがついて、選んだリズムのパターンが鳴り出しましたね。

3 クリアを押します。

打楽器音が消えて、「チツ・チツ・チツ・チツ」というハイハットクローズ(☞)の音だけが残ります。

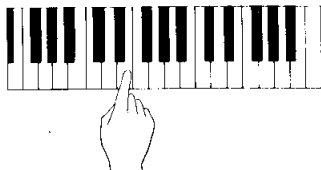
NOTE:

★この音はメトロノームの役目をしていて、1拍ごとに1回鳴ります。

★クリアを押さずに、もとのリズムパターンの上にパーカッションの音を加えることもできます。

★特定の打楽器の音だけを消すこともできます。いちばん右のキャンセルの鍵盤をおさえながら、消したい打楽器の鍵盤を押してください。

4 好みの打ちかたで、カスタムドラマー用鍵盤をたたいてみましょう。



NOTE:

★プログラムにはいる音は、5種類までです。(ハイハットクローズの音をのぞく)

★リズムパターンは2小節をひとつのパターンとし、16分音符まで(8分系では3連符まで)プログラムされません。

★メトロノームとして鳴っていた「チツ・チツ・チツ・チツ」という音は、プログラム中にハイハットクローズ(☞)の音を押さないかぎり、消えません。

★途中でリズムパターンを作りなおしたくなくなった時は、クリアのボタンを押します。

5 リズムのストップのボタンを押してプログラム完了!

6 プレイを押して、つくったリズムパターンを聞いてみましょう。

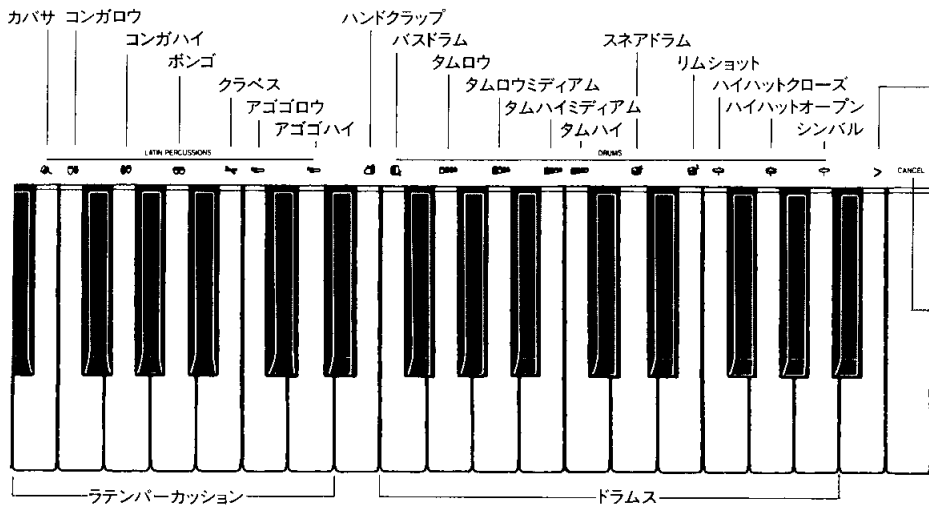
NOTE:

★プレイをもう一度押すと、リズムは止まります。リズムパターンはすでにプログラムされていますので、パワースイッチをOFFにするか、プログラムを押さないかぎり消えません。

★つくったリズムパターンを使って、オートベースコード(P8~10)で演奏することもできます。

★オートベースコードのパターンは、もとのリズムのパターンで鳴ります。

カスタムドラマー用鍵盤は、こんな内容です。



アクセント

リズムの特定の部分を強く出したいときにつかいます。プログラム中に強調させたい場所に来たら、このアクセントの鍵盤を押してください。その部分の打楽器音だけ、強い音になります。

キャンセル

特定の打楽器の音だけ消したいときにつかいます。プログラム中に、キャンセルの鍵盤をおさえながら消したい打楽器音の鍵盤を押すと、その打楽器の音だけ消されます。

まずは簡単なディスコのリズムに挑戦!

ディスコのリズムを選んでからスタートします。
テンポランプで小節のはじまりを確認し、メトロノームの音で拍数を確認しながらたたきましょう。



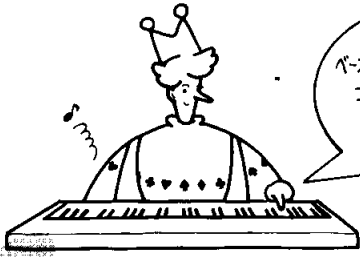
メトロノームの1音の間隔は1拍(♩)、つまり「チッ・チッ・チッ・チッ」と4回鳴って1小節です。プログラムは2小節をひとつのパターンとして記憶されますから、その間にテンポランプは2回点灯、カウントは8回鳴ることになります。

ポータートーンのリズムには、 $\frac{3}{4}$ ・ $\frac{4}{4}$ ・ $\frac{3}{8}$ 拍子の3種類があります。カスタムドラマーのリズムパターンは選んだリズムがもとになるので、ワルツで4拍子のパターン、 $\frac{3}{8}$ 拍子で8ビートのパターンなど、そのリズムからはつくりえないパターン”というのがあります。

$\frac{1}{8}$	ビッグバンド、スウィング、スローロック、レゲエ、ヘビーメタル
$\frac{3}{4}$	ディスコ、ポップス、ロックンロール、サルサ、サンバ、マーチ/ポルカ、16ビート、カントリー、ルンバ、ボサノバ
$\frac{3}{8}$	ワルツ

※12ページにリズムパターンの実例が載っています。

D オートベースコード



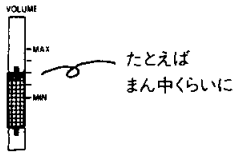
指1本でおさえただけで、ベースと和音の伴奏が出ます。コードが変わるときだけ左手を履えばいいから、両手演奏もらくらく。

シングルフィンガーコード

1 モードをシングルフィンガーにセット。

3 (P5) リズムをセット。

2 オートベースコードボリュームを上げます。



NOTE:
★オートベースコードボリュームが最小(MIN)になっていると、伴奏の音が出ません。

好きなリズムを選んで

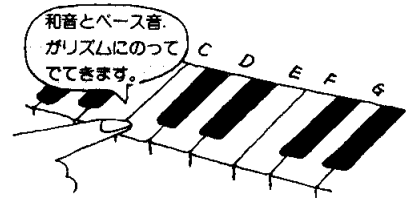
いちばん好きなパターンをセレクト。

ボリューム、テンポはOKですか?

シンクロスタートも押しませう

BIG BAND	SWING
REGGAE	SLOW ROCK
DISCO	HEAVY METAL
POPS	16 BEAT
ROCK N ROLL	COUNTRY
SALSA	RHUMBA
SAMBA	BOSSANOVIA
MARCH/POLKA	WALTZ

4 オートベースコード用鍵盤をひとつおさえてみましょう。



NOTE:
★オートベースコードをつかって弾くとき、メロディーの鍵盤で同時におさえられるのは5音まで(デュエットをつかうときは4音まで)です。
★鍵盤から指をはなしたあとも、同じ伴奏がくり返されます。コードが変わるときだけ鍵盤を押してください。
★コードを変えるところで、指を鍵盤からはなさないで動かすと、コードが思いどおりに変わらないことがあります。いったん鍵盤から指をはなすようにしてください。
★オートベースコードの音色は、オーケストラで選んだ音色と関係ありません。
★伴奏は、リズムと同時に始まり、リズムと同時に止まります。止めたい時は、リズムのストップボタンを押してください。

AUTO BASS CHORD

VOLUME 2

PATTERN VARIATION CHORD

BASS VOICE VARIATION CHORD

MODE 1

KEYBOARD SPLIT
MANUAL BASS
FINGERED
SINGLE FINGER
OFF

伴奏のパターンを変えたいとき

パターンバリエーションを動かすと、伴奏のパターンが変わります。左がベース、右がコードのパターンを変えるレバーです。



いろいろ動かしてみても、コレという伴奏のカチカチを見つけよう。

★パターンバリエーションは、選んだリズムによって変化のしかたがちがいます。
★コードパターンバリエーションの5は、自分でコードパターンをきざみたい場合につかいます。

伴奏の音色を変えたいとき

ボイスバリエーションを動かすと、伴奏に出てくる音色が変わります。

VOICE VARIATION CHORD

ベースの音色を変えるレバー

コードの音色を変えるレバー

BASS VOICE VARIATION CHORD

シンセサイザー
ミュージックボックス
チューバ
エレクトリックベース
ベース

シンセサイザー
オルガン
プラス
ギター
ピアノ

ラブ・ミー・テンダーを弾いてみましょう。

- (左のページの通りに)
- 1 オートベースコードをセット。
 - 2 オーケストラのトーンセクターは、ジャズオルガンを選びます。
 - 3 リズムはポップスを選びます。
★テンポは、ややスローに。
 - 4 シンクロスタートを押します。
 - 5 なれてきたら、DUET ONのところからデュエットを入れると、後半のサウンドがグッと盛りあがります。

ラブ・ミー・テンダー

Love me Tender

作詞・作曲/E. Presley & V. Matson

POPS

JAZZ ORGAN

DUET ON

日本音楽著作権協会(出)許諾第8572084-501号 ©1956 by ELVIS PRESLEY Music, inc. Rights for Japan assigned to CHAPPEL/INTERSONG K.K.

★コードのおさえ方

シングルフィンガーコードのだし方

シングルフィンガーコードについて

次の図は、オートベースコード用鍵盤をおす位置と、でてくる和音の関係を示したものです。

#, bのついているコードのだし方

#がついていたら、上の図で説明した位置の右上の黒鍵、bがついていたら左上の黒鍵をおせば、#・bのついたコードがだせます。

セブンスコード、マイナーコードのだし方

アルファベット1文字のコード(C, Dなど)をメジャーコードといいます。伴奏はメジャーコードだけでは限りません。例えば[G7]のようなセブンスコード、[Am]のようなマイナーコードもよく使われます。これらも、下図のように、2つの鍵盤を同時に押すことでだすことができます。

C (メジャーコード)

C7 (セブンスコード)

Cm (マイナーコード)

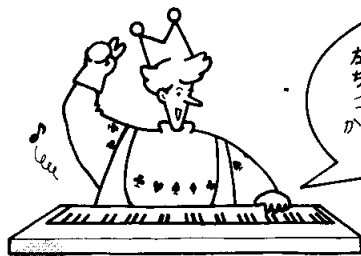
Cm7 (マイナーセブンスコード)

メジャーコードで押した鍵盤より左側の白鍵を同時に押す。(どれでもよい)

メジャーコードで押した鍵盤より左側の黒鍵を同時に押す。(どれでもよい)

メジャーコードで押した鍵盤より左側の白鍵と黒鍵を同時に(3音)押す。(どれでもよい)

D オートベースコード



左手で和音をおさえる、
ちょっと高度な自動伴奏。
コードを知っている人なら
かえってシングルフィンガーより
楽に弾けるかも…。

フィンガードコード

1 モードをフィンガードにセット。

3 リズムをセット。

好きなリズムを選んで

いちばん好きなパターンをセレクト。

ボリューム、テンポはOKですか？

シンクロスタートも押します

BIG BAND	SWING
REGGAE	SLOW ROCK
DISCO	HEAVY METAL
POPS	16 BEAT
ROCK N ROLL	COUNTRY
SALSA	RHUMBA
SAMBA	BOSSANOVA
MARCH/POLKA	WALTZ

RHYTHM

VOLUME

TEMPO

VARIATION

FAST

SLOW

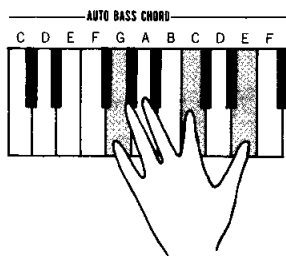
SYNCHRO START

START

STOP

2 オートベースコードボリュームを上げます。

4 オートベースコード用鍵盤で和音をおさえてみましょう。



NOTE:

★フィンガードでつかえるコードは、次の7種類です。
たとえばCコードの場合……

<C、Cm、C7、Cm7、Cmaj7、Cm7⁻⁵、C7sus4>

これ以外のコードの場合は、押鍵している和音の最低音をベースとして演奏します。

★シングルフィンガーのページにあるNOTEの内容は、フィンガードにも共通です。

AUTO BASS CHORD

VOLUME

PATTERN VARIATION

CHORD

VOICE VARIATION

CHORD

MODE

KEYBOARD SPLIT

MANUAL BASS

FINGERED

SINGLE FINGER

OFF

伴奏のパターンを好きな場所に。

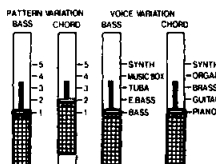
伴奏の音色をセレクト。

伴奏のパターンや音色を工夫しましょう。

パターンバリエーションとボイスバリエーションをいろいろ動かして、選んだ曲のイメージにピッタリのセッティングを見つけ出しましょう。

たとえば、こんな風に……。

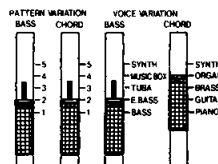
ポップなバラード



1 2 BASS PIANO

リズムはポップス。「イエスタデイ」や「恋におちて」のような曲に。

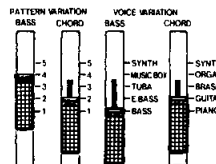
軽快なロックンロール



2 2 E-BASS ORGAN

リズムはロックンロール。「フットルース」や「恋の片道切符」のような曲に。

スタンダードジャズ



4 2 BASS GUITAR

リズムはスウィング。「サテンドール」や「二人でお茶を(Tea for Two)」のような曲に。

自分でベース音を弾きたくなる曲もあります。

マニュアルベース …………… オートベースコードのモードをマニュアルベースにセットすると、オートベースコード用鍵盤の部分が、ベース音になります。

〈「青い影」のイントロを弾いてみましょう。〉

1. モードをマニュアルベースにセット。
2. ベースボイスバリエーションは、チューバを選びます。
3. オーケストラ(P4)のトーンセクターは、パイプオルガンを選びます。
4. ポップスのリズム(P5)にあわせて、スローテンポで弾きましょう。

作曲:K.Reid & G.Brooker

©Copyright 1967 by WESTMINSTER MUSIC LTD., London, England. Rights for Japan controlled by TRO Essex Japan Ltd., Tokyo. Authorized for sale in Japan only.

NOTE: マニュアルベースをつかうとき、左手(オートベースコード用鍵盤)は1音のみ、右手(メロディーの鍵盤)は5音まで同時におさえられます。

伴奏を自分で弾くときは、右手と左手の音色を変えることもできます。

キーボードスプリット …………… オートベースコードのモードをキーボードスプリットにセットすると、オートベースコード用鍵盤の部分が1オクターブ上がり、コードボイスバリエーションの音色に変わります。

〈「エーデルワイス」を、リズムなしで静かに弾くと……。〉

1. モードをキーボードスプリットにセット。
2. コードボイスバリエーションは、ギターを選びます。
3. オーケストラ(P4)のトーンセクターは、フルートを選びます。

作曲:R. Rodgers

©Copyright 1959 by WILLIAMSON Music Inc., Rights for Japan assigned to CHAPELL/INTERSONG K.K.

NOTE: キーボードスプリットをつかうとき、左手(オートベースコード用鍵盤)は4音まで、右手(メロディーの鍵盤)は5音まで同時におさえられます。

リズムパターンの実例

実際の曲に使われているリズムパターンを紹介しつゝ。カスタムドラマー(6~7ページ)をつかって自分だけのリズムパターンをつくるときの、参考にしてください。

ドラムスとパーカッションの記譜のしかた

(マスターブラスター) リズムセクターは
レゲエ

NOTE

スティービー・ワンダーで大ヒットした、レゲエのリズムのナンバーです。2小節目のハイハットに気をつけてたたくましょう。

(スリラー) リズムセクターは
ディスコ

NOTE

マイケル・ジャクソンの世界的ヒット。ディスコのリズムが基本ですが、ハイハットの独特なビートが、この曲らしさを出しています。

(スウィートメモリーズ) リズムセクターは
スローロック

NOTE

おなじみ松田聖子のヒット曲。スローロックの変形で、バスドラムのたたき方に特徴があります。

(素顔のまま) リズムセクターは
ホッフス

NOTE

ビリー・ジョエルのなつかしいデビュー曲。8ビートでありながら、ラテン的な雰囲気をもつパターンです。

★最初のセッティング

YAMAHA PSR-31

POWER MASTER VOLUME **PITCH**

AUTO BASS CHORD

VOLUME **PATTERN VARIATION** **CHORD**

VOICE VARIATION

MODE

RHYTHM

PROGRAM: CUSTOM DRUMMER

CLEAR PLAY SYNCHRO START START STOP

VOLUME **TEMPO** **VARIATION**

BIG BAND **SWING**

REGGAE **SLOW ROCK**

DISCO **HEAVY METAL**

POPS **16 BEAT**

ROCK N ROLL **COUNTRY**

SALSA **RHUMBA**

SAMBA **BOSSANOVA**

MARCH POLKA WALTZ

ORCHESTRA

DUET SUSTAIN VIBRATO

COSMIC POPSYNTH

FUNKSYNTH PERCUS

JAZZ ORGAN PIPE ORGAN

STRINGS BRASS 1

BRASS 2 FLUTE

CLARINET MUSIC BOX

PIANO HARP/SCHOR

JAZZ GUITAR YIBES

マイウェイ

My way

作詞: Gilles Thibaut
作曲: Jacques Revaux
Claude Francois

Chords: C, Gm, A7, Dm, G7, F, Fm, Em7, Am, Dm7, G7, F, C

Lyrics: い ま と な み だ が と ち か づ え
く み に こ の と あ き ふ に れ ち づ い と ま た た ず み ば わ た し
は い ふ り か い え る を と き お く に た び し て あ る い
ず に わ く こ ひ と よ を す き べ て こ こ ろ の き き め た た
ま ま に ま ま に あ い に わ た し
に は あ い す る う た が あ る か ら し ん じ
た こ の み ち を わ た し は ゆ く だ け す べ て
は こ こ ろ の き き め た ま ま に

■コードのおさえ方

日本音楽著作権協会(出)許諾第8572084-501号
© 1967 by Barclay Morris S.A./Jeune-Musique.
Rights for Japan assigned to CHAPPELL/INTERSONG K.K.

★最初のセッティング

YAMAHA PSR-31

POWER MASTER VOLUME

PITCH

AUTO BASS CHORD

VOLUME PATTERN VARIATION CHORD

VOICE VARIATION CHORD MODE

RHYTHM

CUSTOM DRUMMER

PROGRAM CLEAR PLAY SYNCHRO START START STOP

BIG BAND SWING REGGAE SLOW ROCK DISCO HEAVY METAL POPS 16 BEAT ROCK N ROLL COUNTRY SALSA RUMBA SAMBA BOSSA NOVA MARCH/POLKA WALTZ

VOLUME TEMPO VARIATION

ORCHESTRA

DUET SUSTAIN VIBRATO

COSMIC POPSYNTH FUNKSYNTH PERCUS JAZZ ORGAN PIPE ORGAN STRINGS BRASS 1 BRASS 2 FLUTE CLARINET MUSIC BOX PIANO HARPSCORD JAZZ GUITAR VIBES

くちなしの花

作詞:水木かおる
作曲:遠藤 実

Am Dm G7 C

Dm Am E7 Am

Am Dm E7

Dm Am E7 Am

Am Dm E7

Am F E7 Am Dm

Am F E7 B7 E7 Am

い - までは ゆび わも ま - わる ほ ど
 や せ て - や つ れ た - お ま え の う わ さ
 く ち な し の は な の は な の か お り が
 た び じ の は て ま で つ い て く る く ち な し の し ろ い は な
 お ま え の よ う - な は な だ - つ た

日本音楽著作権協会(出)許諾第8572084-501号
© Copyright by Diamond Music Publisher Co., Ltd.

■コードのおさえ方

Am Dm G7 C

E7 F B7

★最初のセッティング

YAMAHA PSR-31

POWER MASTER VOLUME **PITCH**

AUTO BASS CHORD

VOLUME **PATTERN VARIATION** **CHORD** **BASS** **VOICE VARIATION** **CHORD** **MODE**

RHYTHM

ORCHESTRA

CUSTOM DRUMMER

PROGRAM

CLEAR

PLAY

SYNCHRO START

START

STOP

BIG BAND **SWING**

REGGAE **SLOW ROCK**

DISCO **HEAVY METAL**

POPS **16 BEAT**

ROCK N ROLL **COUNTRY**

SALSA **RHUMBA**

SAMBA **BOSSANOVA**

MARCH/POLKA **WALTZ**

VOLUME **TEMPO** **VARIATION**

KEYBOARD SPLIT

MANUAL BASS

FINGERED

SINGLE FINGER

OFF

COSMIC **POPSYNTH**

FUNKSYNTH **PERCUS**

JAZZ ORGAN **PIPE ORGAN**

STRINGS **BRASS 1**

BRASS 2 **FLUTE**

CLARINET **MUSIC BOX**

PIANO **HARP/CHORD**

JAZZ GUITAR **VIBES**

DUET **SUSTAIN** **VIBRATO**

ON **OFF** **ON** **OFF** **ON** **OFF**

オンザサニーサイドオブザストリート

作曲: J. McHugh

On the Sunny Side of the Street

The musical score is written in treble clef with a common time signature (C). It consists of five staves of music. The first staff begins with a treble clef and a common time signature, followed by a 3-beat measure. The second staff contains the main melody with chords: C, Dm7, G7, C, E7. The third staff continues the melody with chords: F, G, E7, Am, D7, and ends with a double bar line and a repeat sign. The fourth staff shows a first ending (1.) with chords Dm7, G7, and a second ending (2.) with chords Dm7, G7, C, Gm7. The fifth staff continues with chords C7, F, Am, D7. The sixth staff is a Coda section with chords G7, Dm7, G7, C. Performance instructions include 'FILL IN ON', 'DUET ON', and 'DUET OFF'. The piece concludes with 'D.S.' (Da Capo).

日本音楽著作権協会(出)許諾第8572084-501号

©Copyright 1930 and 1957 by SHAPIRO, BERNSTEIN & CO., INC., New York, N.Y., U.S.A.

Rights for Japan controlled by Shinko Music Publishing Co., Ltd., Tokyo
Authorized for sale in Japan only

■コードのおさえ方

C	Dm7	G7	E7
F	G	Am	D7
Gm7	C7		

Diagram showing the fingerings for the following chords: C, Dm7, G7, E7, F, G, Am, D7, Gm7, and C7. Each chord is represented by a piano keyboard with dots indicating which keys are pressed and numbers 1-5 indicating the finger used.

★最初のセッティング

YAMAHA PSR-31

POWER MASTER VOLUME **PITCH**

ON OFF MAX MIN FILL IN

AUTO BASS CHORD

VOLUME PATTERN VARIATION CHORD BASS VOICE VARIATION CHORD MODE

MAX MIN -5 -4 -3 -2 -1

SYNTH - MANUAL BASS
- ORGAN
- BRASS
- E-BASS
- BASS
- PIANO

SYNTH - GUITAR
- MUSIC BOX
- TUBA
- GUITAR
- PIANO

KEYBOARD SPLIT
- MANUAL BASS
- FINGERED
- SINGLE FINGER
- OFF

RHYTHM

VOLUME TEMPO VARIATION

MAX MIN FAST SLOW

PROGRAM

CLEAR PLAY SYNCHRO START STOP

BIG BAND SWING
REGGAE SLOW ROCK
DISCO HEAVY METAL
POPS IG BEAT
ROCK N ROLL COUNTRY
SALSA RHUMBA
SAMBA BOSSANOWA
MARCH/POLKA WALTZ

ORCHESTRA

DUET SUSTAIN VIBRATO

ON OFF ON OFF ON OFF

CUSTOM PROGRAM #1

COSMIC POPSYNTH
FUNKSYNTH PERCUSS
JAZZ ORGAN PIPE ORGAN
STRINGS BRASS 1
BRASS 2 FLUTE
CLARINET MUSIC BOX
PIANO HARPSICHORD
JAZZ GUITAR VBES

君といつまでも

作詞: 岩谷時子
作曲: 弾 厚作

ふたり

を ゆ - や み が つ つ む こ の ま ど べ に あ し た

も す ば ら しい し あ わ せ が く る だ ろ う き み

の - ひ と み は ほ し と - か が や き こ い す

る - こ の む ね は ほ の お と - も え て い る お お ぞ

ら そ め て ゆ く ゆ う ひ い ろ あ せ て も ふ た り

の こ こ ろ は か わ ら ない い つ ま で も

日本音楽著作権協会(出)許諾第8572084-501号
© 1965 by Watanabe Music Pub.

■コードのおさえ方

C	Em	F	G7
Dm	D7	Am	Dm7

故障と誤りやすい現象

現象	原因	解決法
パワースイッチを入れたとき、ポツンと音がする。	電気が流れたため。	ご心配いりません。
パワースイッチを早くON、OFF、ONとしたら音が出ない。	ONにして、パイロットランプが点灯する前に電源を入れなおしたため。	もう一度OFFにしてから、少したったあとでONにしてください。
オートベースコード用鍵盤の部分だけ、オーケストラで選んだ音色が出ない。	オートベースコードのモードのレバーが、OFF以外の位置にあるため。	モードのレバーをOFFにしてください。
デュエットの音が出ない。	オートベースコードのモードのレバーが、シングルフィンガーかフィンガードの位置にセットされていないため。	4ページのデュエットの説明をお読みください。
リズムの音が出ない。	①リズムボリュームが最小(MIN)になっているため。 ②スタート、またはシンクロスタートのボタンを押していないため。 ③シンクロスタートのボタンを押して、オートベースコード用鍵盤を押していないため。	5ページの説明を読んで、操作もれがないかどうか確認してください。
カスタムドラマーの音が出ない。	リズムボリュームが最小(MIN)になっているため。	リズムボリュームを上げてください。
プログラム中に、カスタムドラマーの音が出なくなった。	プログラムにはいる音の数(ハイハットクローズをのぞく5種類までの音)をオーバーしているため。	6ページの説明をお読みください。
プログラムに入れたリズムパターンが消えてしまった。	①パワースイッチをOFFにしたため。 ②プログラム完了のあとで、プログラムのボタンを押したため。	一度消えたプログラムを呼びもどすことはできません。6ページの説明をお読みください。
オートベースコードの音が出ない。	①オートベースコード用鍵盤をおさえていないため。 ②リズムがセットされていないため。 ③オートベースコードボリュームが最小(MIN)になっているため。	①②8~10ページの説明を読んで、操作もれがないかどうか確認してください。 ③オートベースコードボリュームを上げてください。
オートベースコードで伴奏しているとき、指をおさえても思ったとおりのコードが出ない。	①オートベースコード用鍵盤から、いったん指をはなさずに弾いているため。 ②シングルフィンガーコードのモードでフィンガードコードをおさえている、あるいはその反対のため。	①コードを変えるときは、いちど鍵盤を指からはなすようにしてください。 ②シングルフィンガーコードと、フィンガードコードでは、おさえ方がちがいます。
オートベースコード用鍵盤のところだけ、1オクターブ高く発音される。	オートベースコードのモードのレバーが、キーボードスプリットの位置にあるため。	モードをOFFにしてください。
パイロットランプが暗くなったり、誤動作が起きたりする。	電池がなくなりかけているため。	すべて新しい電池と交換してください。

仕様

■鍵盤

一段鍵盤 61鍵(C1~C6)

■音色スイッチ

コズミック
ポップシンセ
ファンクシンセ
パーカス
ジャズオルガン
パイプオルガン
ストリング
プラス1
プラス2
フルート
クラリネット
ミュージックボックス
ピアノ
ハーブシコード
ジャズギター
パイプ

■音色効果

デュエットスイッチ
サステインスイッチ
ビブラートスイッチ

■リズムスイッチ

ビッグバンド
レゲエ
ディスコ
ポップス
スウィング
スローロック
ヘビーメタル
16ビート
ロックンロール
サルサ
サンバ
マーチ/ポルカ
カントリー
ルンバ
ボサノバ
ワルツ
キーボードパーカッション
(リズムコントロール)
シンクロスタートスイッチ
スタートスイッチ
ストップスイッチ
フィルインスイッチ
テンポボリューム
テンポランプ
リズムボリューム
リズムバリエーション(1~5)

■カスタムドラマー

プログラムスイッチ
プログラムランプ
プレイスイッチ
クリアスイッチ
■オートベースコード
モードスイッチ
コードパターンバリエーション
スイッチ
ベースパターンバリエーション
スイッチ
コードボイスバリエーション
スイッチ
ベースボイスバリエーション
スイッチ
オートベースコードボリューム

■その他のコントロール

パワースイッチ
パイロットランプ
マスターボリューム
ピッチアップスイッチ
ピッチダウンスイッチ

■メインアンプ

2.5W×2

■スピーカー

12cm(6Ω)×2

■定格電源

DC9V:単1乾電池6個
電源アダプター(PA-4)

■消費電力

電源アダプター使用時/6.5W
乾電池使用時/2.7W
(電池寿命:通常演奏で連続
15時間以上)

■付属端子

EXP. PEDAL JACK
AUX. OUT(L,R) JACK
DC(9-12V) IN JACK
HEADPHONES JACK

■寸法・外装

本体材質:スチロール樹脂
間 口:913mm
奥 行:331mm
高 さ:97mm
重 量:6.8kg

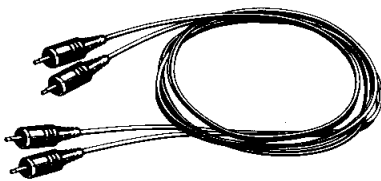
■付属品

電源アダプター(PA-4)

●オプション(別売付属品)

●接続コード(PSC-3)(ステレオ)

¥1,000



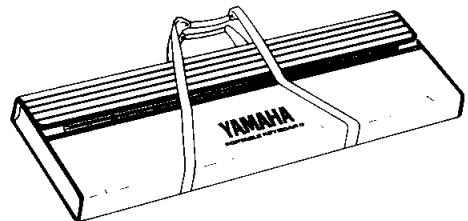
●ステレオヘッドホン(YHD-3)

¥5,500



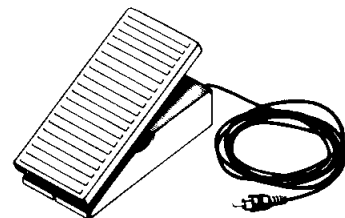
●専用ソフトケース(SCC-12)

¥6,000



●エクスプレッションペダル(EP-1)

¥2,400



アフターサービスと保証

サービスのご依頼は、お買い上げ店へお申し付けください。

■本機の保証は、保証書によりご購入日から満1年です。尚、現金、クレジットなどによる保証の区別はいたしません。
(日本国内のみ有効)

■保証期間中の1年を過ぎても有償にて責任をもってサービスを実施いたします。尚、補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後最低8年となっております。また、保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げ店か下記、お近くのサービス網宛お問い合わせください。

■お買い上げ店による修理調整

故障の場合は、直接お買い上げ店にお持ち込みください。責任を持って修理調整をいたします。

■サービスをご依頼される前に

ご使用中に“故障ではないか”と思われましたら、まず本書の“故障とまちがえやすい現象”の項を一度お読み頂き、お確かめください。(ご依頼をお受けして点検いたしますと故障でない場合でも点検代を申し受けますのでご注意ください。)

■サービスのご依頼

サービスをご依頼なさるときは、お名前、ご住所、電話番号をハッキリお知らせください。またお勤めて昼間ご不在の方は、お勤め先の電話番号、もしくは連絡方法をお知らせください。(楽器の具合をもう少し詳しくおたずねしたいときや、万一やむをえぬ事情によって、お約束を変更しなければならぬときにお客さまにご迷惑をおかけしないですみます。)

YAMAHA電気音響製品サービス拠点

(修理受付および修理品お預り窓口)

東京電音サービスセンター	〒211 川崎市中原区木月1184 TEL. 044-434-3100
新潟電音サービスステーション	〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F TEL. 0252-43-4321
大阪電音サービスセンター	〒565 吹田市新芦屋下1-16 千里丘センター内 TEL. 06-877-5262
四国電音サービスステーション	〒760 高松市丸亀町8-7 日本楽器高松店内 TEL. 0878-22-3045
名古屋電音サービスセンター	〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2 日本楽器名古屋流通センター TEL. 052-652-2230
九州電音サービスセンター	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL. 092-472-2134
北海道電音サービスセンター	〒065 札幌市東区本町1条9-3 TEL. 011-781-3621
仙台電音サービスセンター	〒983 仙台市卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F TEL. 0222-36-0249
広島電音サービスセンター	〒731-01 広島市安佐南区西原2丁目27-39 TEL. 082-874-3787

(本社)

電音サービス部 技術課 〒435 浜松市上西町911
TEL. 0534-65-1158

※住所および電話番号は変更になる場合があります。

